

BUILTALK-m2 機能一覧			MCS	MMS	Web
項目	内容				
管理信号数	モデルHX	タイプA:~2,000点/タイプB:~5,000点/タイプC:5,001点以上			
	モデルLX	タイプA:~800点/タイプB:~2,000点			
基本機能	ユーザ管理機能	ユーザランクを設定し、Webクライアント上での表示可・不可、操作可・不可を設定(目次1画面)	○	○	—
	リスト/グラフィック画面表示	Webブラウザ(Google Chrome)上に表示	○	○	○
	遠隔発停	リスト・グラフィック画面よりマウス操作	○	○	○
	状態監視	リスト・グラフィック画面に表示/応答速度1秒以内	○	○	○
	異常警報監視	重警報、軽警報を表示部に自動表示&ブザー・音声鳴動/リスト・グラフィック画面にも表示	○	○	○
	COS監視	本装置からの最終制御内容と機器状態が不一致の時、警報として通知またはログとして記録	○	○	○
	異常記録/操作記録	警報プリンタへの印字項目が選択可能/ログ画面にはすべての情報を記録し画面表示	○	○	○
	計測/計量	リスト・グラフィック画面に表示/8秒周期でデータ更新	○	○	○
	遠隔設定	リスト・グラフィック画面よりマウス操作(温度設定、開度設定など)	○	○	○
	ロック/離脱/礼かけ機能	機器単位でロック(状態固定)・離脱(機器切離し)・礼かけ(メンテナンスメッセージの貼付け)の設定可能	○	○	○
	条件付き機器検索	ON中・OFF中・警報発生中・COS監視中・ロック中・離脱中・礼かけ中の機器を重複条件で検索し表示	○	○	—
	スケジュール発停/設定	年間カレンダー/3シーズン/パターンの標準時刻テーブル/1機器あたり10回×3系統までのON・OFF設定/設定値のスケジュール制御も可能	○	○	○
	停電処理	停電発生時自動制御停止/復旧時現在スケジュールへ自動復帰/共通以外に1~15の特定区画のみの停電・復電処理が可能	○	○	—
	火災時処理	火災発生時登録機器の制御実行および自動制御停止/復旧時現在スケジュールへの自動復帰/共通以外に1~15の特定区画のみの火災発生・復電処理が可能	○	○	—
自動シャットダウン/立上げ機能	UPSの一次電源が停電した場合にMCSのHD保護のための自動シャットダウン/電源の復旧後にはUPS送電開始時にMCSの自動立上げを実行	○	—	—	
自動バックアップ機能	1日1回深夜、HD内のユーザデータ・累積データをCFカードに自動バックアップ	○	—	—	
自己診断機能	RASBOXによるMCSの毎分自動診断/異常継続10分後ブザー鳴動&自動リポート	△	△	△	
上下限監視	最短1分周期で計測値監視/上限・下限設定値を超えた時、重警報・軽警報通知/その時点での機器制御設定も可能	△	△	△	
警報分類外部出力	RASBOXを介して、警報発生時に共通接点・分類接点×3の4接点出力	△	△	—	
保全・課金業務管理機能	日報/月報/年報印字	日報:前日・指定日、月報:前月・指定月、年報:前年・指定年のデータを自動・手動(ページ指定可)で印字	●	●	—
	トレンドグラフ	全アナログ系機器を対象に5分周期で累積したデータを1グラフに4機器まで任意に選択して表示/累積データ1年分保存	●	●	●
	計測管理グラフ	全アナログ系機器を対象に日・月・年グラフに1グラフ4機器まで任意に選択して表示/日データ1年・月データ5年・年データ10年分保存	●	●	●
	発停状態/警報履歴	全デジタル系機器の発停制御・状態変化・警報変化情報を保存/検索開始・終了日および機器を指定して該当データを検索し履歴表示	●	●	—
	保守インフォメーション	全デジタル系機器のON・OFF(発停回数)・ON時間数(運転時間)を累積保存/設定値を超えると軽警報として通知	●	●	—
	料金計算	テナント毎の電力・ガス・水道および時間外空調などの使用量を自動検針/その他請求項目と一緒に請求書を発行	●	●	—
省エネルギー機能	時間外運転管理	空調機毎に時間外(早出・残業など)運転時間を累積/管理表にて表示・印字/料金計算との連動	●	●	—
	DIイベント制御	状態、異常入力信号を常時監視し、変化を検知した時点でその他信号条件を判断して機器を制御	●	●	—
	電力デマンド監視/制御	30分周期で電力量と瞬時電力からデマンド値を予測/デマンド重警報・軽警報で通報&デマンド改善のための自動制御を実行	●	●	—
	力率制御	無効電力値→0または力率値→100%に近づけるために5分周期で計測し、15分間隔で複数コンデンサ(同一容量・異種容量)をローテーション制御	●	●	—
	台数制御	熱量(演算可能)・流量などの計測値を3分周期で監視し、設定条件との比較で最大8台の機器のON・OFFをローテーション制御	●	●	—
	外気制御	冷房時の空調機負荷を軽減するために、外気温度・室内温度から外気取入または遮断を判断してダンパーを制御	●	●	—
その他	最適起動制御	過去の学習データに基づき指定時刻の外気温度から空調機の最適起動時刻を算出して自動的にスケジュール時刻を変更	●	●	—
	間欠運転制御	連続運転中の空調機に対し、1分周期で室内温度を監視し室内温度の値に従った停止・起動制御を行い省エネを推進	●	●	—
	データ転送	計測管理グラフ・トレンドグラフ・自動検針データなどの累積データをCSV形式で自動・手動でデータ転送	●	—	—
	警報Eメール機能	警報毎に発生・復旧時にリアルタイムで指定の携帯電話・PCなどへEメール通報/通報先16グループ設定可能	●	—	—
	Web空調予約機能	インターネット・イントラネット経由でテナントのPCから市販ブラウザにて空調機の運転予約申請を実施/管理者には集計表を表示・印字	●	—	●

MCS (マスターコントロールステーション)	設備負荷監視・制御の統括管理を行う装置。負荷ポイントの管理、全信号の入出力、全機能の制御を実行。
MMS (マンマシンステーション)	設備負荷監視を行う装置。MCSとすべて同一の操作・監視が可能。
Webクライアント	設備負荷監視、使用頻度の高い機能・操作の一部を行う。

○:標準機能 △:LXモデルではオプション機能 ●:オプション機能

BUILTALK-m2 機器仕様一覧

機器	項目	モデルHX		モデルLX	
		MCS-4000HX(タワー型サーバ)	MCS-4000LX(デスクトップ型PC)	MCS-4000LX(BOX型PC)	MCS-4000LX(BOX型PC)
MCS(マスターコントロールステーション)	機種	Intel XeonE3相当	Intel Corei3相当	Intel Corei7相当	Intel Corei7相当
	ハードディスク	RAID1+ホットスベア	シングル	シングル(SSD)	シングル(SSD)
MMS(マンマシンステーション)	機種	MMS-4000LX			
	仕様	MCS-4000LXと同一装置			
モニタ	仕様	21.5インチフルHD、スピーカ内蔵			
	解像度	1,920×1,080			
MPR(警報プリンタ)	仕様	USB接続、インパクトドットマトリクス方式、カラー4色(黒・赤・青・緑)、10インチ連続用紙			
	GPR(作表プリンタ)*1	LAN接続、LIPS V レーザプリンタ(カラー、モノクロ)、B4/A4用紙			
CS(コミュニケーションステーション)	機種	CS-4010			
	仕様	LAN 1ポート、RS-232C 2ポート(同一プロトコル)			
RASBOX(外部診断装置)	仕様	外部4接点出力(CPU異常&共通警報&分類警報×3)、自動診断&自動復旧機能			
	機種	RS(PLC)			
RS(リモートステーション)*2	伝送幹線	MCS-RS(PLC)間:イーサネットLAN(UTP,Cat5E)			
	RS間伝送	コントローラリンク<専用方式>:ワイヤー(シールド付ツイストペア線)/光(ハード・プラスチック・クラッドファイバー)指定ケーブル			
	分散伝送	デバイスネット<分散ユニット:分散専用方式>:ワイヤー(5線)指定ケーブル			
	入出力ユニット*3	Di:無電圧A接点、32点/64点、(分散)16点 Do:トランジスタ、16点/48点、(分散)8点 Ai:直流4~20mA、8点、(分散)4点/直流0~100mV、8点 Ri:Pt抵抗、4点、(分散)4点/Ni抵抗、4点 Pi:無電圧/バルス、ノルス幅100mS、16点、(分散)16点 Ao:直流4~20mA、8点、(分散)2点/直流1~5V、8点、(分散)2点 Ro:抵抗0~135Ω、2点			
接続台数	最大16RS/ノード、ノード(MCS-RS間)最大90/システム	最大16RS/ノード、ノード(MCS-RS間)最大2/システム			

*1:無停電電源装置(UPS)を設置する場合は、作表プリンタのみ別電源とします。*2:LonWorks対応設備との接続は別形態となります。*3:RS内ユニット組み合わせは任意。

※長期に渡って安心してご使用いただくために、保守契約の締結をお勧めいたします。 ※BUILTALKはセイコーソリューションズ株式会社の登録商標です。 ※LinuxはLinus Torvalds氏の日本および他の国における登録商標または商標です。 ※LonWorksは米国 Echelon Corporationの米国および他の国における登録商標または登録商標です。 ※Google, Google Chromeは、Google Inc. の商標または登録商標です。 ※Intel, Intel Core, Xeonは米国Intel Corporationの米国および他の国における登録商標です。 ※その他、記載されている社名および製品名などは各社の商標または登録商標です。 ※このカタログに記載された仕様、デザインなどは予告なしに変更することがあります。

SEIKO

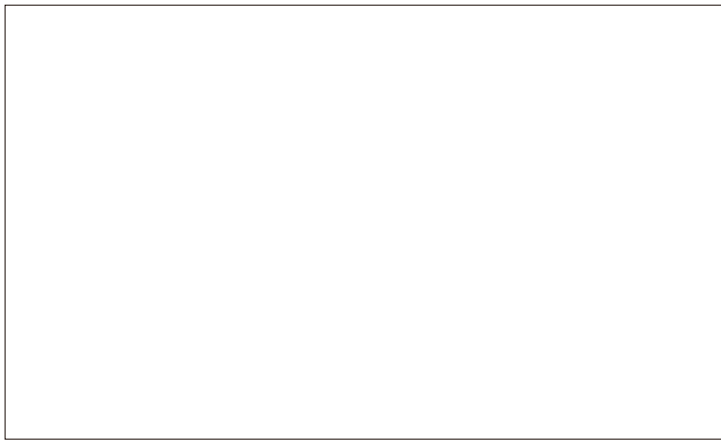
セイコーソリューションズ株式会社

本社	〒261-8507 千葉県千葉市美浜区中瀬1-8	TEL 043(273)3116
東京本社	〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-6-1	TEL 03(6779)8954
名古屋営業所	〒456-0002 愛知県名古屋市中区金山町1-7-5	TEL 052(681)7161
大阪営業所	〒541-0059 大阪府大阪市中央区博労町4-2-15	TEL 06(6245)2240
中四国営業所	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23	TEL 082(534)7560
九州営業所	〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野2-11-15	TEL 093(511)5396
福岡営業所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-4-4	TEL 092(481)6631

最新情報をいち早くお知らせ。●インターネットホームページ <https://www.seiko-sol.co.jp/>



JQA-QMA15381 JQA-EM7228 JQA-IM0184



2003-SS003-1BS(VF)



BUILTALK-m2 総合ビル管理システム

安心から生まれる「ゆとり」。

オフィスビルから医療、教育、公共施設まで、あらゆる建物の集中管理&最適制御により、大きな安全と安心をお届けします。



High reliability
Long maintainability
Good operability

SEIKO

長年の導入実績から生まれた高い信頼性、保守性、操作性。 安心して使えるビル管理システムをワンパッケージで提供します。

セイコーソリューションズの「BUILTALK(ビルトーク)」は、1982年より約600セットの導入実績を持つ総合ビル管理システムです。

独自管理のLinux OSをベースにし、管理点数200点前後の建物から5,000点以上の大規模建物まで、お客さまの建物に最適なシステムをワンパッケージで提供。多彩な監視・制御・管理機能により受変電、空調、衛生、セキュリティ、防災設備の状況を正確に把握。最適制御の実施により、安全でムダのない管理を実現します。

建物の最適運用をお考えなら、「BUILTALK」におまかせください。

High reliability 高い信頼性

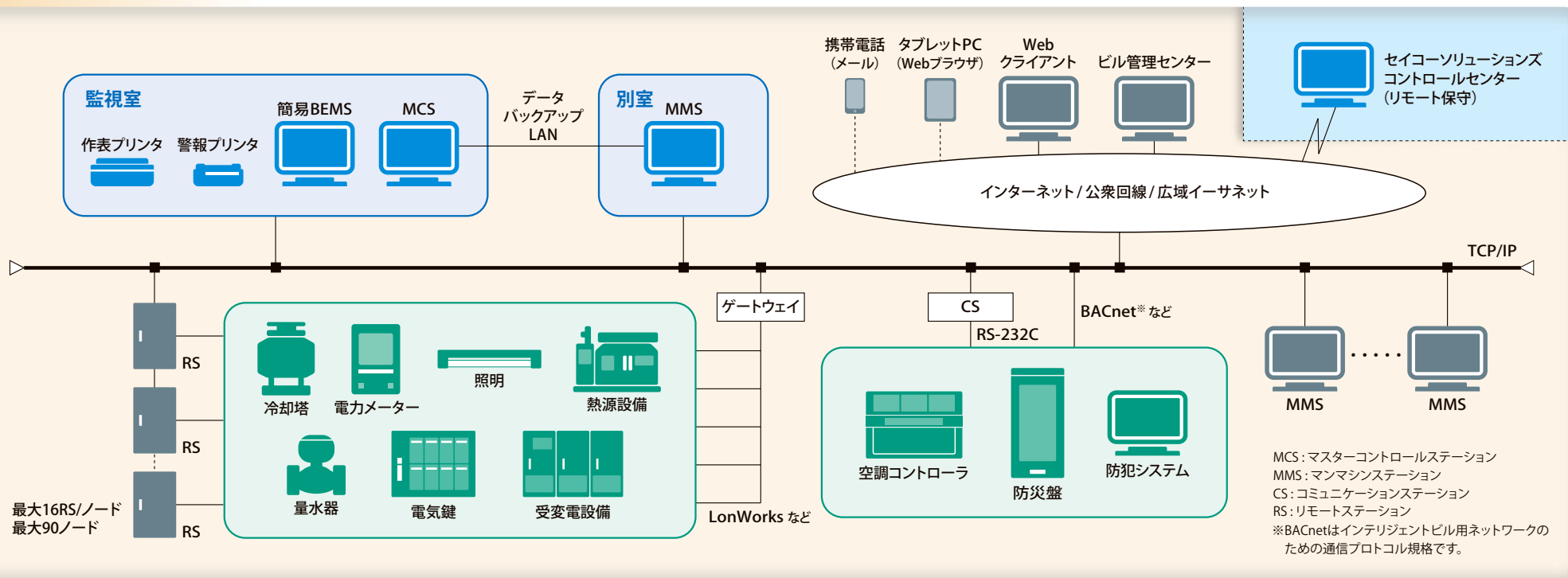
ハード、ソフト両面から信頼性を追求

ミラー & ホットスペアディスクによる三重化構成および冗長化電源の「HX」、低コストな汎用PCを用いた「LX」の2モデルをご用意。両モデルともに堅牢かつ拡張性にすぐれたリレーショナルデータベースを搭載。CFカードに

よるデータ自動バックアップ、自社製外部診断装置「RASBOX」による自己診断・自動復旧を備え、高い信頼性を実現しています。

用途に応じたバックアップ構成を実現

本体+予備機の機器二重化によるコールドスタンバイ、ホットスタンバイによるバックアップ、さらには本体+副監視機のダブル監視による高信頼のバックアップまで、用途に応じたバックアップ構成を実現。万一の機器トラブル時にもシステムを止めることなく継続して運用管理が行えます。



Long maintainability 長期保守性

つねに最新の環境で見守り迅速に対応

Linux OSを独自管理することで、OSのサポート期限にとられない長期メンテナンスを実現。最新ハードへの更新が低コストで実施できます。「24時間365日コールセンター」「全国をカバーする駆けつけ対応」「リモート接続による専門スタッフの解析」により、万一のトラブルも迅速に解決。連続稼働するシステムを安心してご利用可能です。

すぐれた拡張性により将来的な増設も容易

通信・伝送幹線にイーサネットLAN (TCP/IP) を採用。自社製CSにより空調コントローラ、防災盤、防犯システムといったシリアル通信装置とも接続可能です。またLonWorks、BACnet、その他UDP通信との同時接続にも対応。設備拡張時にも稼働中のデータベースをそのまま継続することで、手間と時間をかけることなく容易に増設できます。

Good operability すぐれた操作性と多彩な機能



Webに標準対応し、グラフィックの表現力が多彩に。またサーバからのプッシュ通信の実装によりブラウザ上でリアルタイムな警報や数値変化を確認でき、リモート監視の際も安心です。さらに高付加価値なソリューションとの連携を可能にし、高まる省エネルギーやBCPへのニーズに対応します。

充実のソリューション機能(オプション)

- 総合地震防災(緊急地震・被災度判定)**
気象庁からの緊急地震速報を受信し、地震被災度の予測や機器・設備制御、放送・アラーム表示による情報伝達を行います。
- ビルマルチ空調省エネ制御**
COPを高めるような室外機の間欠運転制御により、省エネを実現します。

- マイクログリッド制御**
太陽光発電や蓄電池などの小規模発電装置を制御。停電時には、非常用発電との連携発電制御も可能です。
- スマートBEMS(予測制御)**
外部より天気予報を取り込み、過去の使用実績から当日、翌日の需要電力、生産電力を予測し、電力使用量のピークカット、ピークシフト制御を実施します。
- 簡易BEMS**
すべての計測、計量データを専用PCに自動収集し、任意のグラフ、帳票を作成します。(データ保存:約10年分)
- 見える化システム**
BUILTALKと連動して、エネルギーの使用状況や天気予報など、様々な情報をWebやデジタルサイネージで表示します。

